

9組初の上田・関東合同同級会 上田で開催！ 卒業以来の出会いも

8月26日(土)、上田・袋町の香青軒で、9組の同級会が開かれ16名が参加した。今回の会は、地元幹事の塚田修君が山浦巖先生を囲んで開催することを企画。連絡を受けた宮原豊君が関東在住者を取りまとめ、卒業以来初の上田・関東合同の大同級会となった。当日は16時からオープン。増沢賢一君の司会でスタート。最初に物故者(栗原剛君、小林康人君、中村滋君、半田秀之君、福島卓夫君)への黙禱の後、幹事の塚田君から山浦先生の近況報告を交えた挨拶。残念ながら山浦先生は直前に「体調不良から参加できなくなった。皆さんに本当に会いたかったがよろしく伝えてください」との連絡が塚田君にあり、不参加となった。先生は奥様を亡くされてから元気を失っておられるとの塚田君からの報告があったが、次回のご参加を是非お願いしたい。

関東の連絡役を務めた宮原君が挨拶・乾杯の音頭で会が始まった。暫し歓談ののち、各自の近況報告が行われ、笑いの渦が広がる。

参加者は地元から幹事の塚田、土屋啓郎、増沢賢一、柳沢英明、若林健、甲田幹夫、藤田雄二、田中光幸、柄沢則夫、緑川英貞。竹松(清水)良子さんは松本から。

関東から赤尾晴夫、保屋野良治、西村賢治、宮原、丸山隆平の各氏。

また、地元の青木繁幸君は直前に勤務先(小諸商工会議所)の所用で不参加となった。安藤泰雄君、西沢良幸君も都合がつかず参加できなかった。

藤田君、緑川君、清水さんには卒業以来の出会いだったが、談笑するうち、高校時代の面影が浮かんでくる。今回も、西村君が持参した、入学時、卒業時の集合写真が役立つ、50年前にタイムスリップ。

我々9組は西沢、西村のラインで前後に分かれ、1年生の時は前の塊は8組と、後の塊は10組とともに授業を受けていた。そのため、後の塊に属していた私は前の人とは、授業で一緒になったことがない人も多かったが、近況報告で改めて、卒業後の活躍を知ることになった。

9組は卒業時は43名。物故者5名。今回、連絡が取れなかった人が8名だったので、連絡可能な30名中から16名が参加したことになる。

65期同期会は還暦、卒後50周年と地元上田で開催されたが、次は古希を期して来年秋、東京で開催しようという計画が進んでいる。この機会を含め、今回出席できなかった多くの級友の参加を得て元気に再会しようと約した。

会の最後は恒例の西村応援団長の指揮により、校歌斉唱。だが、この頃は隣の西村君と土屋君の勧めに応じた日本酒が回って、よく覚えていない。

2次会は隣のカラオケスナックに場所を移し、21時ごろまで続いた。

(2017年8月28日 レポーター丸山隆平)

次ページに集合写真

《写真説明：前列左から宮原、増澤、西村、竹松（清水）、若林、柳沢
後列左から土屋、田中、柄澤、藤田、緑川、甲田、保屋野、赤尾、丸山、塚田》

